

茅ヶ崎セントラルクリニック

川島希望 (管理栄養士 / 栄養科)

功 績 当院の患者層の分析を行い、男性の独居が多い現状を把握し、ヒアリングを繰り返した結果、コンビニエンスストアでの食事が多い当該患者向けに、コンビニでも出来る食事療法を自ら研究し、小冊子にまとめ、希望する患者に配布、説明を行った功績。

推 薦 者 若林陽盛

推 薦 理 由 自らの業務をただ遂行するだけではなく、知恵と工夫によって昇華させる姿は、まさに光り輝く民間病院におけるチャレンジ、そしてスピードを体現するものと思い、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

川島は入職3年弱の管理栄養士です。入職後間もなく、前任であった管理栄養士が退職、またその後すぐにコロナ禍となり、段階的に院内での献立作成、調理業務が中止となっていきました。その間、外来透析指導については根気よく継続し、今では全患者175名に対して栄養指導を行っています。

栄養指導にて、患者さんの食事の実態を把握するために普段摂取している食事の状態をヒアリングしていきました。その結果、独居の高齢男性の比率が高く、食事の殆どを外食、もしくはコンビニエンスストアでの購入に頼っていることがわかりました。

そのような患者さんに対して、一般的な栄養指導の方法では参考になりにくいと考えた川島は、発想を転換し、「コンビニエンスストアでの購入をするのであれば、こういった商品が透析患者さんには良い」と、自らコンビニへ足を運び、さまざまな商品を調査、わからないことがあればコンビニエンスストアの本社へ電話をかけ、細かな栄養素を確認して、患者さんがコンビニに行った際に購入したほうが良い商品をわかりやすく、指導を加えたオリジナルの小冊子を作成しました。

更に大手のコンビニ3社それぞれの冊子を同様に作成し、患者さんに配布していきました。栄養指導を受けることにやや拒絶を示していた患者さんも、自分にとって馴染み深いコンビニの商品が羅列してあることで受け入れてくれるようになり、栄養指導そのものも円滑に進むようになってきました。今年のテーマである「知恵」と「工夫」によって、患者さんにも自身の業務にも良い影響を与えた川島の取り組みは、理事長賞に値すると考え、推薦させていただきます。